

各 位

日本機械輸出組合
専務理事 赤津光一郎

JMC エキスパートセミナー（基準認証） 「日本と欧米の製品安全の思想の違いから考える適合性評価と 海外認証制度への対応」開催のご案内

拝啓 貴社ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

製品安全に係る海外規制は EU の CE マーキング制度をはじめ、米国・中国など主要国の独自規制に加え、近年ではグローバルサウスの各国でも新たな規制の導入が進む等、急速に変化しています。これら海外規制への対応は、単なる認証取得にとどまらず、海外市場での事業継続・展開を左右する経営の重要な課題となっています。一方、社内の人員や専門知識などのリソースに限りがあることから各国の規制や認証制度を正確に理解し、効率的かつ継続的に対応できる社内体制を構築することが重要です。

本セミナーでは、海外製品安全規制を単なる「認証取得のための制度」としてではなく、「海外ビジネスを支える製品コンプライアンス」として捉え、各国の製品安全規制を俯瞰した考え方から、国・地域ごとの各国認証制度や手続きの違い、実務における製品リスクアセスメントの手法、さらには最近重要性が高まっているセキュリティ規制への対応まで、規制への事後的な対応にとどまらず、製品開発の上流である設計段階から各国で求められる認証・適合性評価を見据えて取り組むための実務的な視点について学んでいただきます。

実務のご担当者だけでなく、設計・品質保証・法務・海外営業など、海外製品安全規制に関わる各部門の皆様に、現在の社内対応状況を見直し、より主体的・実践的に取り組むためのヒントを得ていただける内容です。さらに経営層の皆様にとっても海外製品安全規制への対応を単なる現場の課題としてではなく、海外ビジネスを継続・拡大するための経営課題として捉え、今後必要となる社内体制や取組について考える機会として、ぜひご参加ください。

◆日 時 2026年11月12日（木）15:00～16:30（Zoom ウェビナーと対面のハイブリッド開催）

◆プログラム

15:00～16:15 講演

「日本と欧米の製品安全の思想の違いから考える適合性評価と海外認証制度への対応」

一般財団法人 日本品質保証機構 安全部門 事業開発室 グループ長 清水 雄一郎 氏

16:15～16:30 質疑応答（質疑応答後、Zoom 配信終了）

◆形 式 ハイブリッド形式（会場参加、Zoom ウェビナー）

① 会場参加

会場：日本機械輸出組合 東京本部 第一会議室（定員：約 20 名 先着順）（[地図](#)）

※講演資料は、当日会場にて配付予定です。

② Zoom ウェビナー参加

ウェビナー参加者には開催前日までに参加用の URL をお送りします。

当日、参加用 URL よりログイン頂き、ご聴講ください。

※講演資料は開催日までにメールにてご案内いたします。

◆参加費 無料

◆お申込み方法

参加ご希望の方は、2026年11月6日（金）までに下記のURLからお申し込み下さい。

①会場参加、②オンライン参加の、各ご希望の参加方法のフォームよりお申し込みをお願いいたします。

<https://www.jmcti.org/jmchomepage/semminar/expert.htm#kijyun2>

*会場参加につきましては定員に達し次第、受付を終了させていただきます。

◆キャンセル方法

11月9日（月）までに下記事務局宛にメールにてご連絡ください。

お問い合わせ先：日本機械輸出組合 貿易関連制度グループ

TEL：03-3431-9230 E-Mail：shimazaki@jmcti.or.jp、 s-saito@jmcti.or.jp

■講師紹介

1995年、日本品質保証機構（JQA）入構。

以来、プラント検査、CE マーキング支援、電子署名法に基づく指定調査業務、

生活支援ロボットの安全性評価業務など、多様な分野における適合性評価業務に従事。

生活支援ロボット分野においては、安全規格 ISO 13482（Robots and robotic devices
- Safety requirements for personal care robots）の規格策定活動にも参画し、

安全性評価スキームの構築および評価業務に携わる。

現在は総合製品安全部門にて、グローバルマーケットアクセスおよび新規事業開発を担当し、
海外認証機関との連携拡大や新たな適合性評価サービスの開発に取り組んでいる。